

施設名	船頭平閘門(せんだうひらこうもん)									
所在地	愛知県 愛西市									
管理者等	国土交通省									
施設種類・分野	河川	樋門・閘門								
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>船頭平閘門は、岐阜、愛知、三重の三県の県境付近、木曾川と長良川を繋ぐ水路上に位置している。</p> <p>船頭平閘門は、水位調節時の停船場となる閘室と、その両端で門扉を収容する閘頭部からなる。明治20年から同45年にかけて行われた、内務省直轄の木曾川下流改修工事で建設された。設計は青木良三郎、野村年らによるもので、明治32年10月に起工、明治35年3月に竣工した。明治から大正期における、木曾・長良川流域の舟運発達と、地域経済の活性化に寄与した。</p>		木曾川下流河川事務所HPより引用							
築造時期	明治後期		時期詳細	明治35年(1902年)						
関連人物	—									
関連企業	—									
トピックス (特徴的エピソード)	船頭平閘門は、躯体、門扉とも煉瓦や鉄など近代的な部材を用い、また当時の最新の構法で建設された閘門である。しかも、両端を内開きと外開きの二重の門扉とする複閘式閘門として、我が国最初期のものである。構造形式、築造技術からみて、日本近代の閘門史上、貴重な土木構造物といえる。									
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	—	文化財(文化庁)	重要文化財	近代化産業遺産(経産省)	—	世界遺産(ユネスコ)	—	
その他 (関連資料、文献)	<p>文化庁HP https://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/maindetails.asp</p>									
管理者等のHP (URL等)	<p>中部地方整備局木曾川下流河川事務所HP http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/sisetu/sendohira-detail.html</p>									